

幸福実現党の新しい国づくり

- 1 努力するほど豊かになれる
個人や企業の努力が報われる社会をつくります。
- 2 自分の国は自分で守る
日米同盟を強化し、隣国の脅威から国民を守ります。
- 3 塾に頼らず学力を上げる
公立学校を「経営再建」し、家庭の教育費を軽減します。
- 4 家族の助け合いを支援する
自助を基軸とした社会保障を考えます。
- 5 宗教を尊敬する国に
世界のリーダーとなるために、国家の品格を取り戻します。



幸福実現党 党首 **ついき 秀学** しゅうがく

1971年大阪府生まれ。東京大学法学部第3類（政治コース）を卒業後、宗教学法人幸福の科学に入局。財務局長、専務理事などを歴任。妻と3男の5人家族。趣味は読書と散歩。

幸福実現党公式インターネット番組

毎週木曜夜9時 大好評放映・配信中!

幸福実現TV

日本や世界の時事問題の本質に迫ります。

幸福実現TV

検索

政治に、新しい力を。  **幸福実現党** <http://www.hr-party.jp/>

発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8 電話 03-6441-0754 ©幸福実現党本部 2012年

『ファイナル・ジャッジメント』に続く近未来予言映画 第2弾!

ほんとうに大切なものは、
「目に見えないもの」の中にある。

製作総指揮 **大川隆法**

神秘の法
The Mystical Law

原作/大川隆法「神秘の法」(幸福の科学出版) 原案/大川隆法
監督/今掛勇 音楽/水澤有一 脚本/「神秘の法」シナリオプロジェクト 幸福の科学出版作品 配給/日活

10月6日(土)“神秘体験”ロードショー!

©2012 HR Press NIKKATSU



STOP!
いじめ

政治に、新しい力を。  **幸福実現党**

幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

August 2012 Vol.36

幸福実現党が訴え続ける 「いじめ防止法」の制定

7月以降、滋賀県大津市でのいじめ自殺事件が大きな波紋を呼んでいます。

現代のいじめには暴行や恐喝、器物損壊などの犯罪行為が含まれることがあり、場合によってはすぐに警察を呼ぶべきです。被害者の安全を確保するためには、学校は警察に頼ることを躊躇してはなりません。

また今回の事件では、学校や教育委員会の隠蔽体質が明らかになりましたが、ともすれば教育現場は一般社会の正義が通用しない“治外法権”の場と化してしまう恐れがあります。かねて幸福実現党は、「いじめ防止法（禁止法）」の制定を訴えていますが、いじめ加害者には退学、停学、出席停止等の措置を取るとともに、教員にはいじめに真正面から取り組むことを義務化すべきだと考えます。



いじめを止められるかどうかは、現場の教師や校長にかかっており、加害者を指導して反省・謝罪をさせなくてはなりません。教師は本来、聖職者であり、知識だけでなく善悪を教える道德教育の担い手なのです。

民主党政権が事業仕分けで生徒への配付をやめさせた道德用教材「心のノート」の中学生用には、『論語』の一節が引用されています。「義を見てせざるは勇なきなり」——。大津事件の担任教師が、この言葉を自分の問題として受け止め、正義を貫くことができたならば、若い命が犠牲になることはなかったはずです。

学校からいじめを追放するには、教師が道德教育の担い手であり、自らも道德を実践しなければならないという意識の徹底が急がれます。

教師は道德教育の担い手として 子供たちに善悪を教えよ